Your future is made by reding books ８号

2023年　１月20日

　新年度の１学期が始まりました。学期始めによく目にする光景が転入生や新入生の入学手続きです。校長が保護者から対象児童の年齢などを聞き取り、必要な物の説明をするのですが、これまで校長室は薄暗い倉庫を兼用していたため天気のいい日は屋外で行われたのが図書館が出来てからは室内は明るく天井のファンが廻った中での入学手続きとなりました。連れてこられた生徒はもちろん学校に入学するという事は知って来るのですが、低学年になればなるほど顔がこわばっていて緊張感がこちらまで伝わってきました。その入学手続きを見ながら私は新学期早々にやろうと決めていた破れた本の補修や書架の木材にシロアリがいるのか？木くずのような埃で汚れてしまう書架の埃掃除をしました。校長はじめ諸先生方の図書館の本の取り扱い方指導によって、段々と増えてきた本は大切に扱われているのですが、それでも大勢で利用する本の為に破れが生じたり紛失したりしているのも実情です。「Thank you for always taking care of library books」書架の扉を開いた内側に本の整理整頓例の写真ともに付け加えた言葉です。この言葉だと何を care するのか伝わっていないのでは？そう考えながらの掃除となりました。さて、新年度始まったばかりで学校自体が落ち着いていない中、３年生４年生合同で絵本の読み聞かせを行ないました。前の学年の時からこの学年に絵本の読み聞かせを取り入れている中、子どもたちのお気に入りは何と言っても「おおきなかぶ」です。「どっこいしょ。」の掛け合いがたまらなく大好きな様で休み時間からどっこいしょモード全開でした。「かいじゅうたちのいるところ」も読んだのにこちらは話の展開が少し難しかったようです。しかし「大きなかぶ」は簡単なストーリーで「だれがだれを引っ張ったか。」と「うんとこしょ。どっこいしょ。」が記憶に残ります。今年度、この「どっこいしょ」を超えられるお話しは出てくるのでしょうか。私自身が楽しみでなりません。おかげさまで本が増えてきました。ありがとうございます。

図書館建設サポーター　一般社団法人ギブアウェイ様

プロジェクトサポーター　フェリシモ基金事務局様　矢東タイヤ様

KAWASHO FOODS (GULF)FZE 様